

年間授業計画

令和4年度 教科[工業・キャリア技術科] 科目[デザイン史]

№

クラス又は班	デザインDTP	インテリア				単位数	使用教科書・教材
担当者						2	デザイン史

教科・科目のねらい(目標)	古代から現代まで人類の生み出してきた道具や芸術品、生活様式などから、デザインの変遷を学ぶ。生活及び福祉を取り巻くデザインが、どのような歴史を経て現在のスタイルに至ったのかを学ぶ。分野を超えてデザイン・インテリアに関する基礎的・基本的な時代の流れを内容を理解する。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数	
1 学 期	4	オリエンテーション	デザイン ～レタリング～ デザインとは	30	
	5	第1章 序説	身近なデザイン 福祉住環境とデザイン		
	6	第2章 第1節日本のデザイン	さまざまな住環境とデザイン		
	7	第2節 古代 第3節 中世	飛鳥時代・奈良時代・平安時代 鎌倉時代・室町時代		
2 学 期	9	第4節 近世 第5節 近代	安土桃山時代・江戸時代 明治・大正時代・昭和時代前期	30	
	10	第3章 西洋のデザイン 第1節 原始 第2節 古代 第3節 中世	オリエント・エーゲ海文明 ギリシャ・ローマ 初期キリスト教文化 ビザンチン・イスラム・ロマネスク・ゴシック・ ルネッサンス・バロック・ロココと新古典主義		
	11	第4節 近世 第5節 近代	近代デザインの始まり 近代デザインの成立と展開		
	12				
3 学 期	1	第4章 現代のデザイン 第1節 産業デザインの復興 と現代デザインの活動	日本の戦後復興とデザイン 海外のデザイン動向	10	
	2	産業の発展とデザイン	日本のデザインの発展 デザインの国際交流 海外デザインの動向		
	3				
				年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> 出欠席状況、授業態度、各種提出物、学期毎の確認考査によって評価をする。 必要に応じて、講義内容の中から簡単な実技課題を与え、理論を実践していく。 定期考査の点数を評価の50%に入れる。
----------	--

備考	
----	--

年間授業計画

令和4年度 教科[工業・キャリア技術科] 科目[インテリア計画]

№

クラス又は班	3年5組					単位数	使用教科書・教材
担当者						2	インテリア計画(実教出版)

教科・科目のねらい(目標)	インテリア計画に関する基礎的な知識と技術を学習する。 インテリアに関する幅広い知識を習得する。 他の授業や、実習との連携をはかり、デザイン・インテリアに関する基礎的・基本的な内容を理解する。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数	
1 学 期	4	オリエンテーション インテリア計画の概要	インテリアの概念と計画 生活と住まい	30	
	5	インテリアの造形と心理 人間の感覚・知覚と造形	感覚の特性、視覚と視覚特性 造形要素の知覚 聴覚・触覚と空間		
	6	形態 色彩とテクスチャー	形態の分類、造形美の原理、装飾の役割 色彩の概念と分類 テクスチャー		
	7	空間の認知	空間定位、スケール感 開放感と閉鎖感		
2 学 期	9	インテリアの環境	屋外環境と屋内環境	30	
	10	インテリアと人間工学 インテリアへの応用	人間工学の意味 家具への応用		
	11	インテリアの安全 寸法計画と規模計画	住まいと安全、日常災害 空間の目的と規模、寸法計画		
	12	インテリアエレメント	インテリアエレメントの種類		
3 学 期	1	インテリアエレメント	インテリアエレメントの計画	10	
	2	各種空間の計画 まとめ	住宅、オフィス、商業施設 学校、図書館		
	3				
				年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> 出欠席状況、授業態度、各種提出物、学期毎の学期末確認テストによって評価をする 必要に応じて、講義内容の中から簡単な実技課題を与え、理論を実践していく。
----------	--

備考	
----	--

年間授業計画

令和4年度

教科[工業・キャリア技術科] 科目[系列実習(インテリア技術)]

№

学級又は班	3年5組				単位数	使用教科書・教材
担当者					3	

教科・科目のねらい(目標)	工業の専門分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、主体的に行動できるようにインテリアデザインの基礎・基本的な能力を養う。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学期	4	オリエンテーション(共通)	<ul style="list-style-type: none"> ・系列実習の年間授業計画の説明 ・レタリング検定(欧文基本書体の拡大視写)の練習 ・レタリング検定(和文基本書体表現)の練習 ・レタリング検定(フリーハンドによる字体表現)の練習 ・レタリング検定(模試) 	45
	5	レタリングの知識・技術の理解(3班共通)		
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・インテリア模型班 ・住宅設計班 ・木材加工班 	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子の模型の制作 ・3Dキャド ・荒木取り 	
	7		これらを班でローテーションする	
2 学期	9	<ul style="list-style-type: none"> ・インテリア模型班 住宅模型製作 模型用寸法の置き換え 模型製作(仕上げ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・模型材料と工具について学ぶ。 ・家具の部品図の描き方と加工方法について学ぶ ・繊細な加工について学ぶ。 	45
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅設計班 建築平面図の作図 建築立面図の作図 建築断面図の作図 	3DCAD製図による建築製図を学ぶ。 配置図、平面図、立面図、断面図を書くことにより、CAD製図の知識と技術を学ぶ。	
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・木材加工班 椅子の墨付けと部材加工 椅子の仕口加工・接着 椅子の塗装 	南京椅子の製作を通して、木工機械・手工具などの工具の使用方法和技術を学ぶ。 また、家具製作からデザインの基礎を体験的に理解を進め	
	12		これらを班でローテーションする	
3 学期	1	講評会(共通) 作品の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の講評とまとめ ・作品を撮影し、データ化する ・理論と実技のまとめ 	15
	2			
	3			

年間予定授業時間数	105
-----------	-----

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(出欠の状況、服装、取り組む姿勢) ・提出物(レポートの提出状況・内容、その他課題) ・作品(精度等)
----------	--

備考	<ul style="list-style-type: none"> ・木工、パース、CADを班でローテーションする。 ・4月から5月末まで、6月上旬に行われるレタリング検定の知識を各班共通の学習として扱う。
----	--

年間授業計画

令和3年

教科[工業・キャリア技術科] 科目[デザイン技術(デザイン・インテリア)]

No. _____

学級又は班 担当者	3年5組	3年5組					単位数	使用教科書・教材
							3	デザイン技術(海文堂出版)

教科・科目の ねらい(目標)	<ul style="list-style-type: none"> デザインの多岐にわたる技術を、理論と実践を通して学習し理解を深める。 実技の内容に重点をおき、必要とされる技術を作品の制作に生かす。
-------------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定 時数	
1 学 期	4	講義 デザイン技術の概要 デザインの基礎 ビジュアルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> レタリングの知識と実技を学ぶ。 分割線、修正をおこなう。 書体エレメントの造形について学ぶ。 色の三属性について学ぶ。 用紙の規格サイズについて学ぶ。 視覚伝達と要素について学ぶ。 	35	
	5				
	6				
	7				
2 学 期	9	デザインの基礎	<ul style="list-style-type: none"> 形態の構成と原理の概要を学ぶ。 形態の原理を学ぶ。 構成の原理を学ぶ。 	37	
	10	デザインの基礎	<ul style="list-style-type: none"> 色彩・素材の理解 		
	11	デザインの基礎	<ul style="list-style-type: none"> 色彩・素材の理解 基礎技術の応用。 		
	12	デザインの創造	<ul style="list-style-type: none"> バランス、アクセント、リズムの理解。 立体デザインについて。 		
3 学 期	1	デザインの創造	<ul style="list-style-type: none"> 立体デザインについて。 	7	
	2	デザインの創造	<ul style="list-style-type: none"> 様々な作品の理解 		
	3				
				年間予定授業時間数	79

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> 出欠席状況、授業態度、各種提出物、確認テストの成績により総合的に評価をする。 教科書で講義した内容を、必要に応じて、簡単な実技課題をこなし、理論を実践していく。
----------	---

備 考	
-----	--

年間授業計画

令和4年度 教科[工業(キャリア技術科)] 科目[デザイン材料]

No.

クラス又は班	3年5組					単位数	使用教科書・教材
担当者						2	179電機大・工業383

教科・科目のねらい(目標)	1. 材料の特性とその加工法を知る。 2. 特性と加工法の違いがデザインに与える影響を学ぶ。 3. 材料を用いての演習や課題制作等を通し、さまざまな材料を体感する。
---------------	--

学期(月)	指導項目	指導内容	予定時数				
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と材料 材料の種類 	<ul style="list-style-type: none"> 生活とデザインについて デザインのプロセス 各種金属材料(鉄鋼材料) 	3			
	5	<ul style="list-style-type: none"> 無機材料の特性と加工技術 	<ul style="list-style-type: none"> デザインと材料の関わり 有機材料と無機材料 各種金属材料(非鉄金属材料) 	7			
	6	<ul style="list-style-type: none"> 無機材料の特性と加工技術 	<ul style="list-style-type: none"> 各種金属材料(非鉄金属材料) 複合材とその他の材料 	7			
	7	<ul style="list-style-type: none"> その他の材料 	<ul style="list-style-type: none"> 注目される新材料について(機能性材料) 	4			
2 学期	9	<ul style="list-style-type: none"> 無機材料の特性と加工技術 	<ul style="list-style-type: none"> セラミックス ガラス 	8			
	10	<ul style="list-style-type: none"> 有機材料の特性と加工技術 	<ul style="list-style-type: none"> 各種プラスチック 	6			
	11	<ul style="list-style-type: none"> 有機材料の特性と加工技術 	<ul style="list-style-type: none"> 各種プラスチック 木材 	6			
	12	<ul style="list-style-type: none"> 有機材料の特性と加工技術 	<ul style="list-style-type: none"> 木材 	7			
3 学期	1	<ul style="list-style-type: none"> 有機材料の特性と加工技術 	<ul style="list-style-type: none"> 紙、繊維、皮革 	4			
	2			1			
	3			0			
年間予定授業時間数							53

評価の観点・方法	1. 授業態度(出欠席の状況、授業への取り組み、忘れ物等) 2. 提出物(課題・ファイル等の提出状況及び内容) 3. 学期末確認テスト(合計:3回) 上記の3項目について総合的に評価を行う
----------	---

備考	
----	--

年間授業計画

令和4年度 教科[工業・キャリア技術科] 科目[課題研究(インテリア技術)]

No.

学級又は班 担当者	3年5組	単位数	使用教科書・教材
		3	

教科・科目の ねらい(目標)	工業に関する課題を設定し、その課題解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の進化及び総合化を図ると共に、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
-------------------	--

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定 時数
1 学 期	4	課題研究のテーマ アイデアスケッチ 寸法の検討	1年間継続的に学習する課題研究のテーマを考える。 オリジナルデザイン案を考える。 三面図による寸法の検討	31
	5	モデル製作 必要な知識の把握	モデル製作によるデザインの検討 課題解決・研究に必要な基本的な知識を修得するために、 調べ学習をする。	
	6	必要な技術の練習・試作 情報整理	課題解決・研究に必要な基本的な技術を修得するために、 練習・試作を行う。	
	7	素材の注文	使用する木材・ガラス、工具等、収集した情報を整理し、使用 する木材、ガラス、皮、樹脂等を注文する。	
2 学 期	9	作品製作	製作の開始 生徒個々に製作工程が違うため、安全管理や機械待ちでの 作業などを考える。	34
	10	データの整理	製作段階の作業風景等、撮影したデータを整理する。	
	11	仮組み		
	12	作品の点検	不具合等がないか点検する。 作品を完成させ、課題研究発表会で展示する。 課題研究のまとめ、不足している内容を補う。	
3 学 期	1	作品完成 課題研究のまとめ 課題研究発表会準備	課題研究の成果・課題をまとめ、発表の準備をする。 発表のための資料を準備する。 課題研究発表会の練習をする。	6
	2	課題研究発表会	発表のための不足している資料を補充する。 1年間学習した成果を在校生に発表する。	
	3			
年間予定授業時間数				71

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠席状況、授業態度、各種提出物により総合的に評価をする。 ・自主的に問題解決を行うための実技と知識を駆使している。 ・課題研究発表会のための作品展示・プレゼン原稿などのための資料として随時生徒は授業内容を整理状況を評価する。
----------	--

備考	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマの中から1テーマを選択し年間を通して学習する。 ・素材として、木材、ガラス、金属、樹脂を使った作品制作を実施する。
----	--

年間授業計画

令和4年度

教科[工業・キャリア技術科] ・科目 [系列実習(デザイン・DTP技術系列)]

No. _____

学級又は班	3年5組				単位数	使用教科書・教材
担当者					3	_____

教科・科目のねらい(目標)	工業の専門分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、主体的に行動できるようにデザイン・DTPの基礎・基本的な能力を養う。
---------------	--

学期(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学期	4	オリエンテーション (2班共通)	30
	5	レタリングの知識・技術の理解(2班共通)	
	6	2班編成でローテーション ・デジタル表現班 ・アナログ表現班	
	7	2班編成でローテーション ・デジタル表現班 ・アナログ表現班	
2 学期	9	2班編成でローテーション ・デジタル表現班 ・アナログ表現班	42
	10	2班編成でローテーション ・デジタル表現班 ・アナログ表現班	
	11	2班編成でローテーション ・デジタル表現班 ・アナログ表現班	
	12	2班編成でローテーション ・デジタル表現班 ・アナログ表現班	
3 学期	1	2班編成でローテーション ・デジタル表現班 ・アナログ表現班	6
	2	・発表指導 作品のプレゼンテーションを行う	
	3		
年間予定授業時間数			78

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(出欠の状況、服装、取り組む姿勢) ・提出物(レポートの提出状況・内容、その他課題) ・作品(精度等)
----------	--

備考	
----	--

年間授業計画

令和3年度 教科[工業・キャリア技術科] 科目[課題研究(デザインDTP技術)]

No. _____

学級又は班 担当者	3年5組							単位数	使用教科書・教材
								3	_____

教科・科目のねらい(目標)	工業に関する課題を設定し、その課題解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の進化及び総合化を図ると共に、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
---------------	--

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数					
1 学 期	4	課題研究のテーマ アイデアスケッチ デザインの検討 デザインモデル製作	1年間継続的に学習する課題研究のテーマを考える。 オリジナルデザイン案を考える。 材料の検討 デザインの検討	30					
	5	必要な知識の把握	課題解決・研究に必要な基本的な知識を修得するために、調べ学習をする。						
	6	必要な技術の練習・試作	課題解決・研究に必要な基本的な技術を修得するために、練習・試作を行う。						
	7	情報整理 使用材料の注文	使用する材料や工具等、収集した情報を整理する。 使用する材料を注文する。						
2 学 期	9	作品制作	生徒個々に製作工程が異なるため、各生徒にあった作業内容・行程を検討し考え、作品を制作する。 作品を完成させ、作品展に展示する。 課題研究のまとめ、不足している内容を補う。 講評会を実施する。	42					
	10	作品制作							
	11	作品制作							
	12	作品完成 課題研究のまとめ							
3 学 期	1	課題研究発表会準備	課題研究の成果・課題をまとめ、発表の準備をする。 発表のための資料を準備する。 課題研究発表会の練習をする。 発表のための不足している資料を補充する。 1年間学習した成果を在校生に発表する。	9					
	2	課題研究発表会							
	3								
								年間予定授業時間数	81

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠席状況、授業態度、各種提出物、確認テストの成績により総合的に評価をする。 ・実習中に説明した内容を、自主的に実技課題を行い、実技と知識が理解できている。
----------	--

備考	・テーマの中から1テーマを選択し年間を通して学習する。
----	-----------------------------